

# 表面形状に着目した感性評価のための 仮想触感提示手法

広島市立大学大学院 情報科学研究科  
知能工学専攻 知識工学研究室

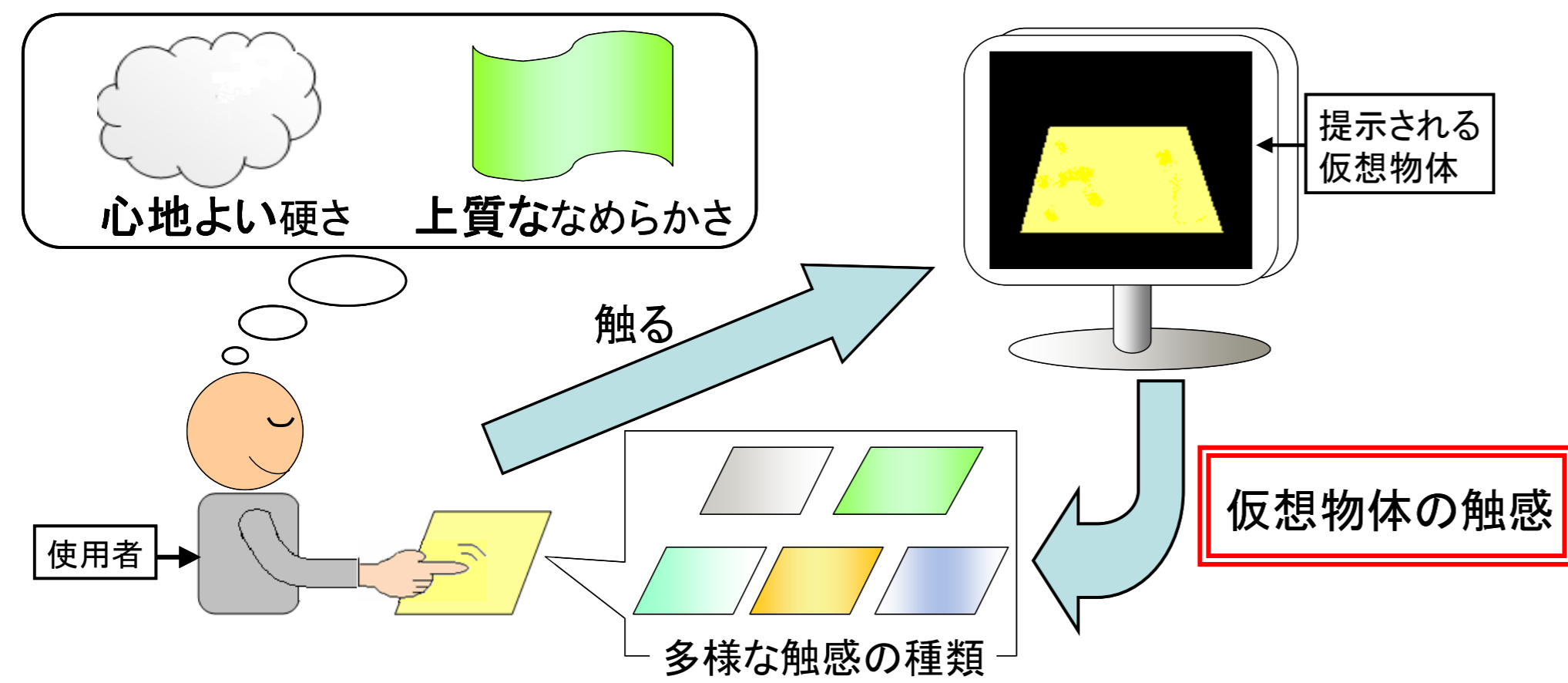
## 研究概要

製品の触感は製品の触り心地から人間が抱く感性を評価する際に重要となる。対象の触感と感性との関係を製品開発に応用するために、対象の表面形状に着目し、質感も合わせて提示可能な仮想触感提示手法を提案する。また、評価実験により、本手法が触感に関する感性の感性評価に応用可能性があることを示唆した。

### 1. はじめに

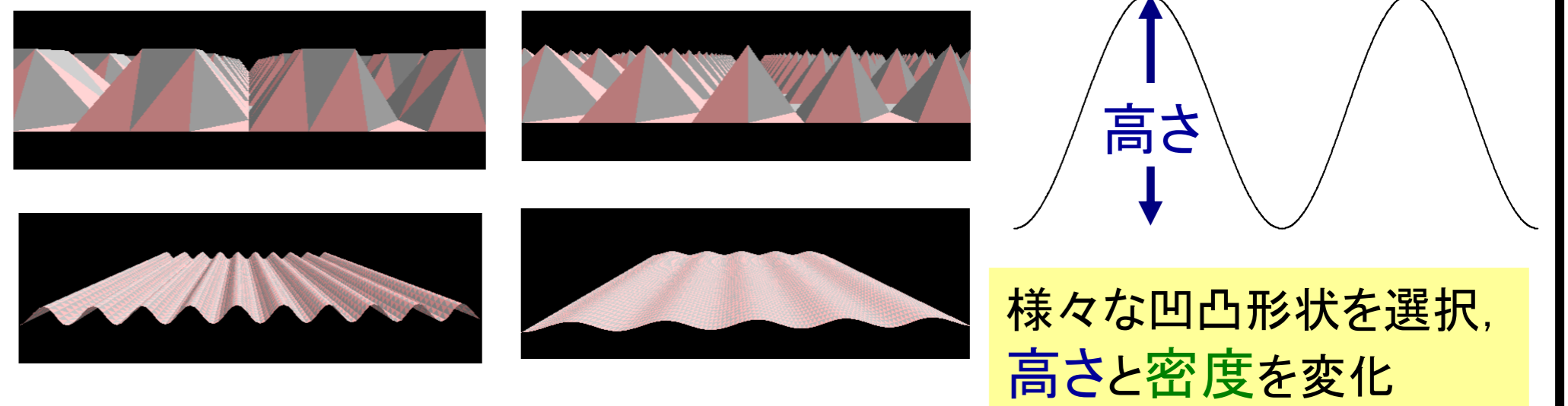
製品の触感を通じて人間は製品から様々な印象を“感性”として感じ取っている

対象の触感と感性との関係を感性評価によって解析

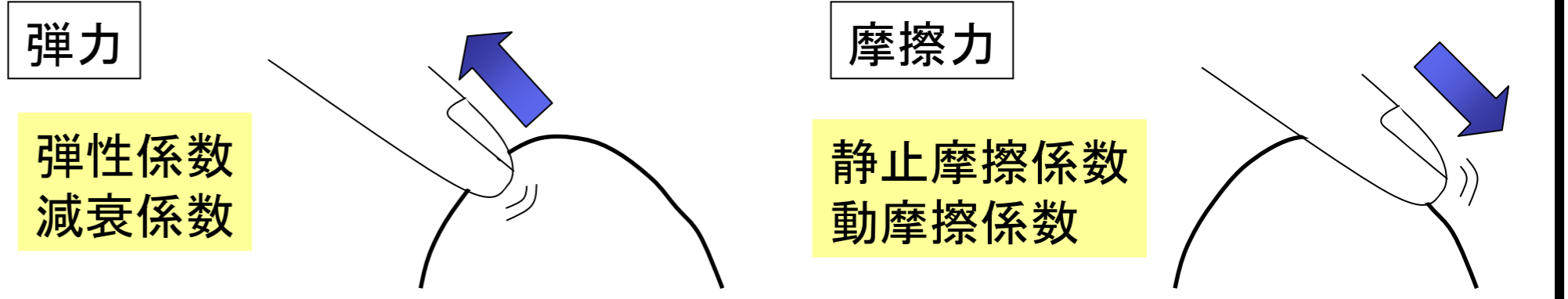


### 4. 仮想触感提示手法

■ 表面形状に関するパラメータ

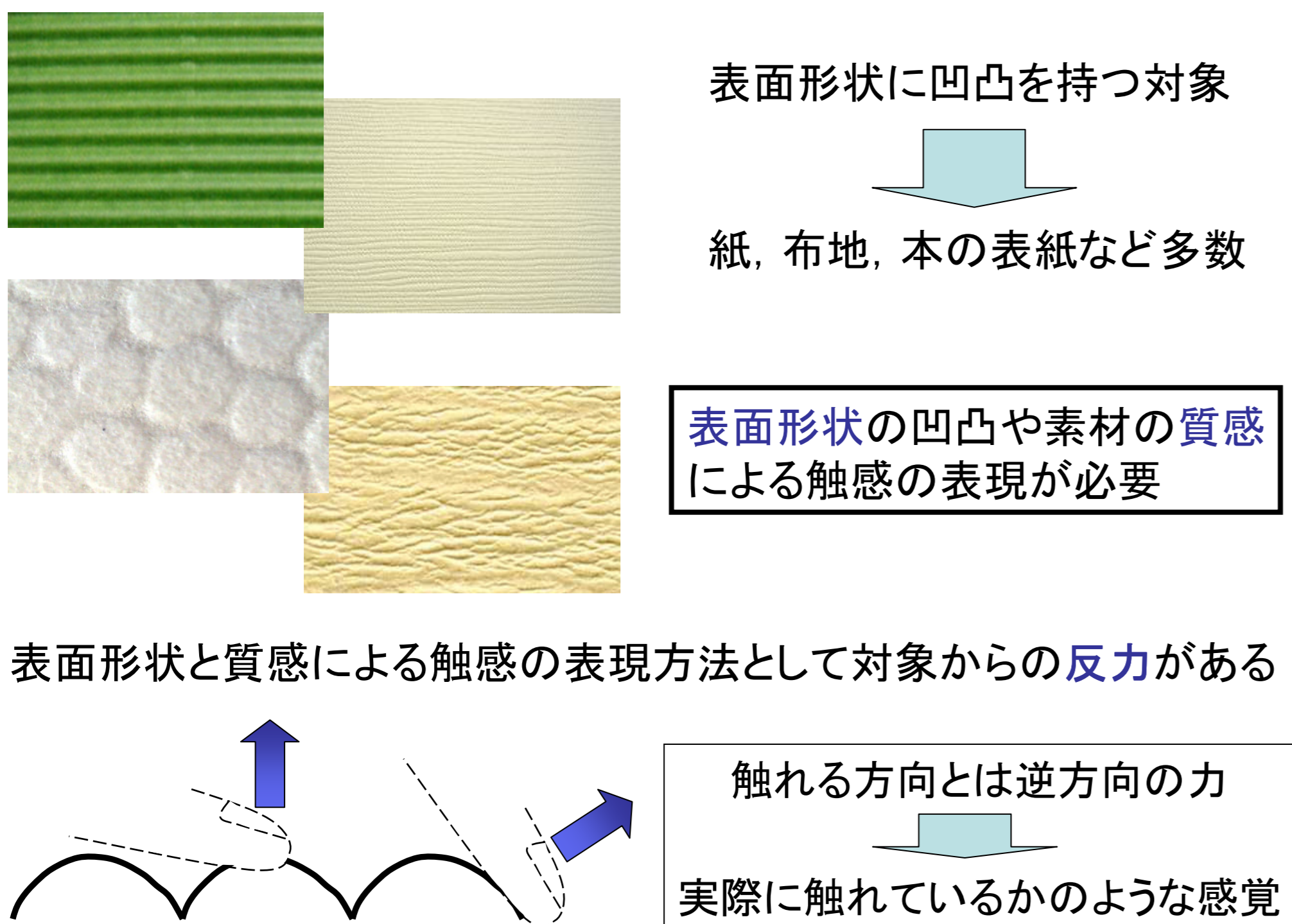


■ 質感に関するパラメータ

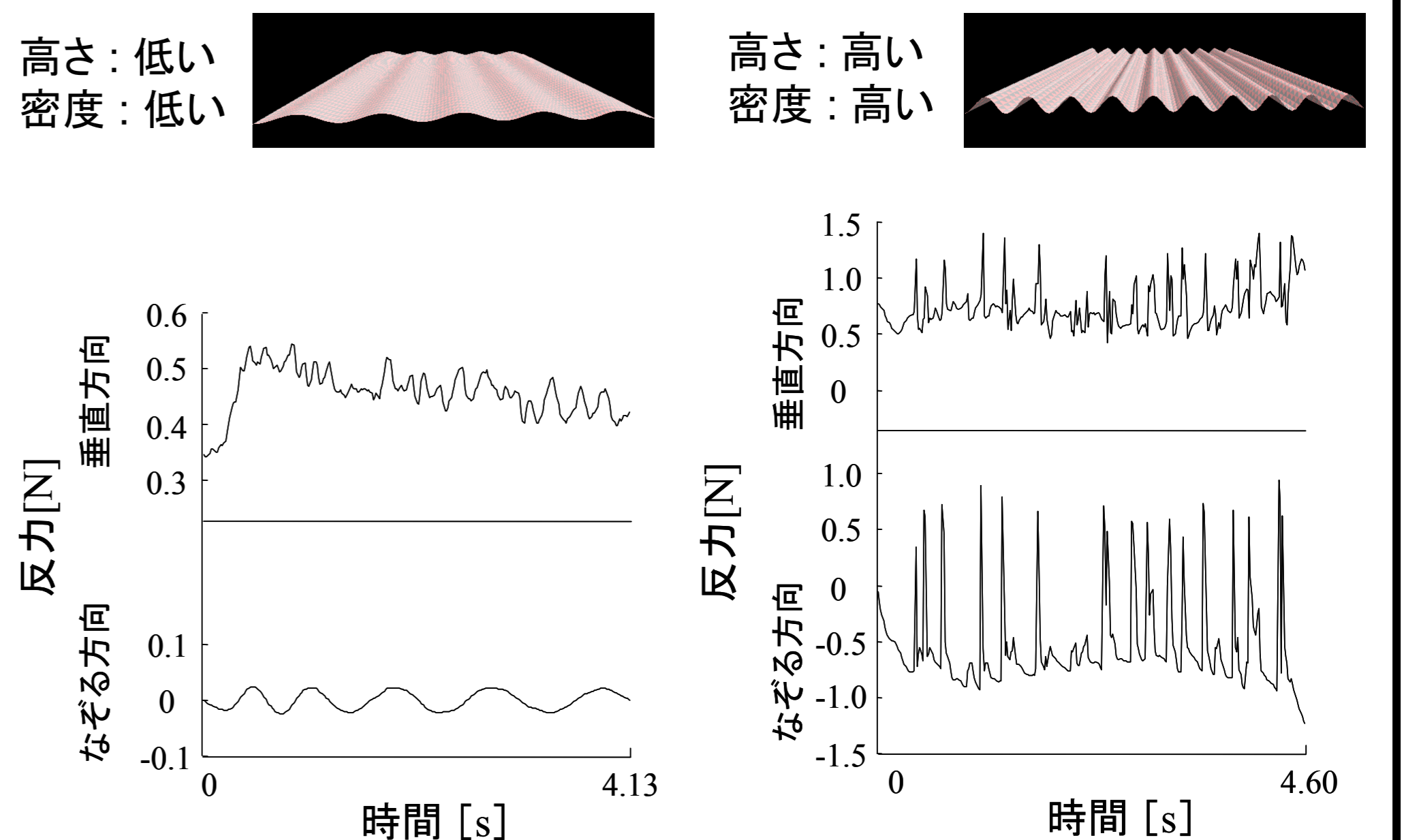


様々な表面形状に質感を加えることによって仮想面の触感を表現

### 2. 仮想触感の表現方法

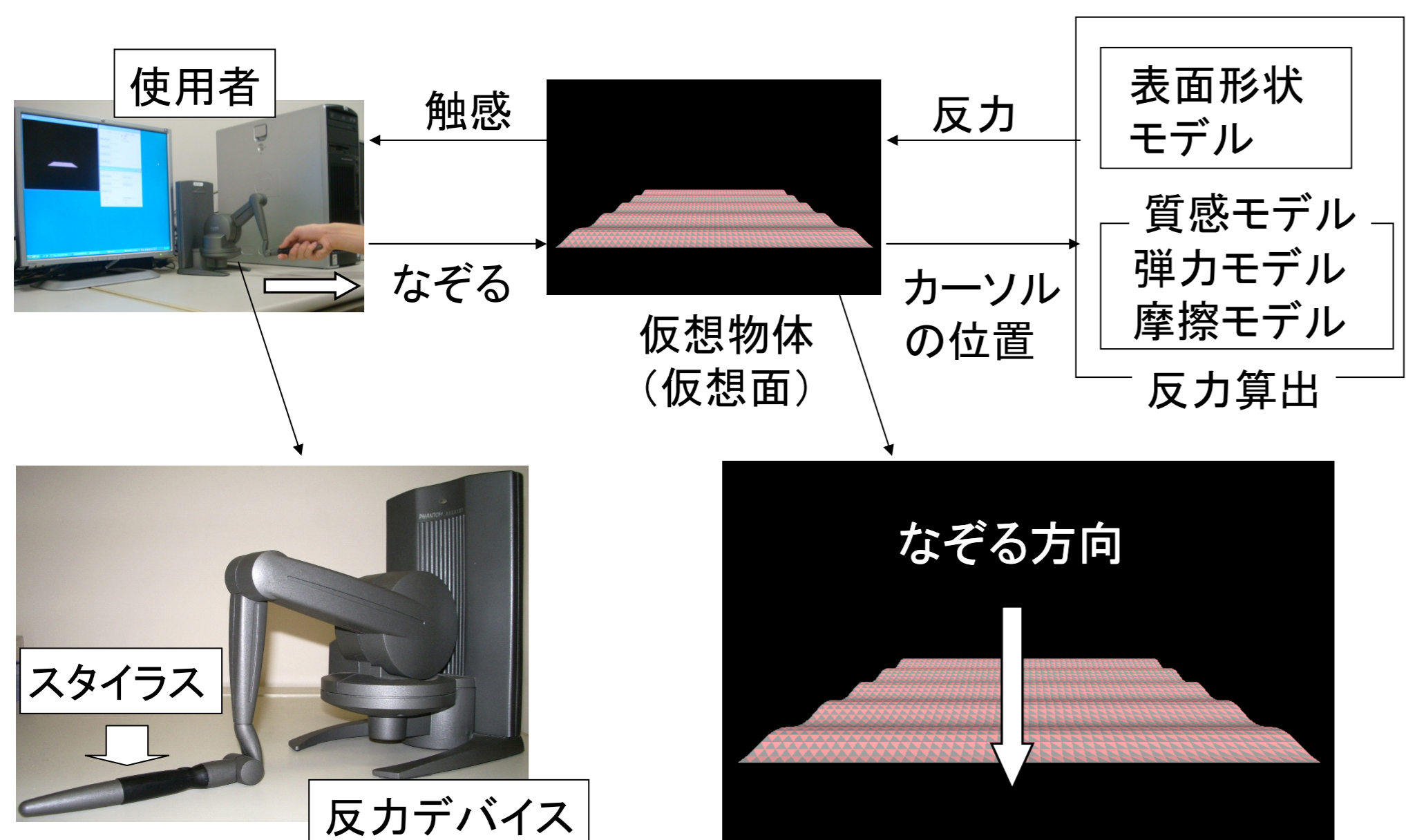


### 5. パラメータによる反力の変化



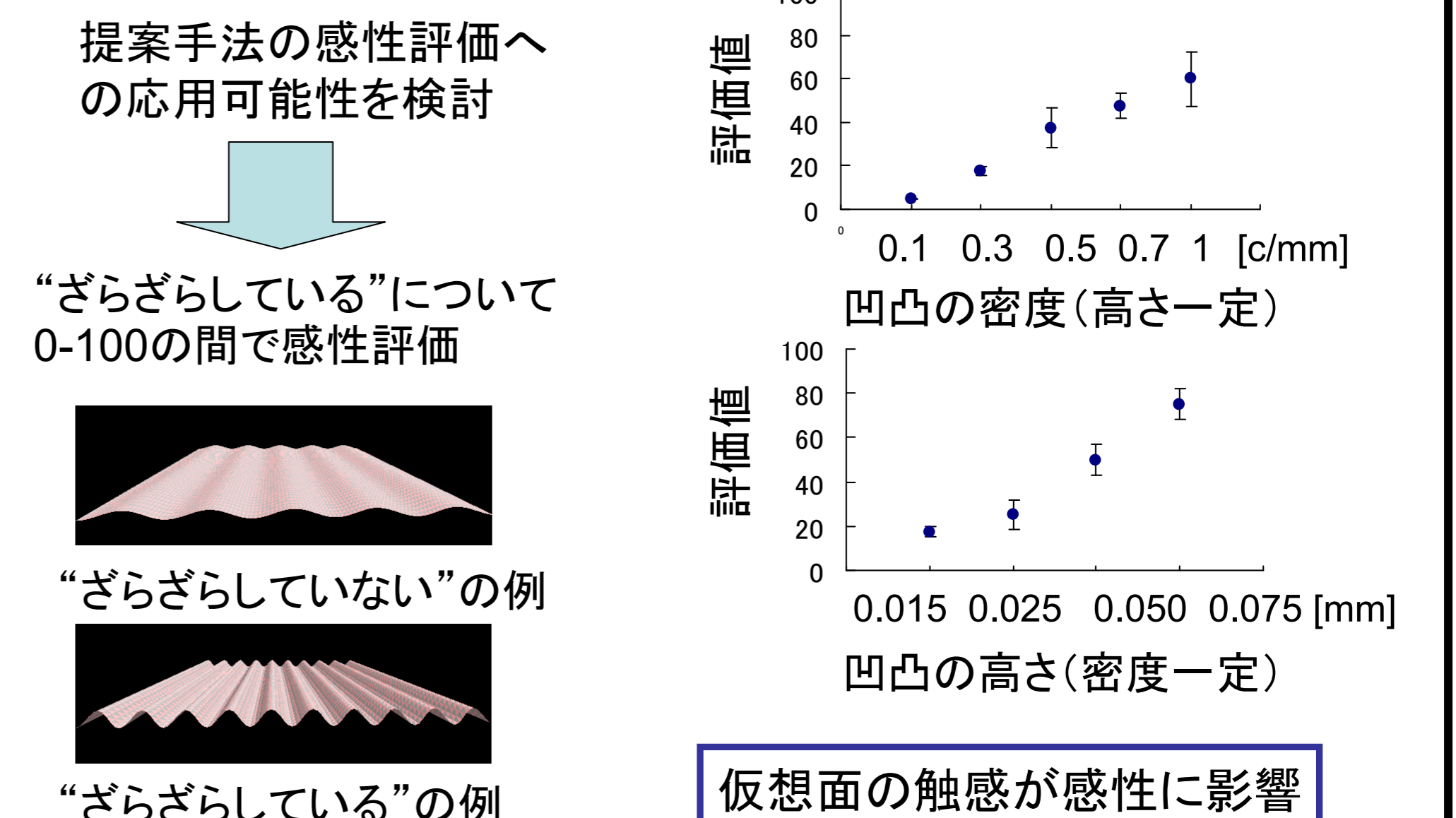
パラメータを変化させることで様々な反力を使用者に提示可能

### 3. 提案システム



表面形状や質感から感じる触感を反力として使用者に提示

### 6. 評価実験



本手法は触感に関する感性の感性評価に対して応用可能性がある